

金浦地区まちづくり交付金事業の 市民アンケート結果について

市では、「夢あるまち 豊かなまち 元気なまち 住みたいまち にかほ」を目指したまちづくりを進めるため、国の「まちづくり交付金」を活用した「金浦地区都市再生整備計画」を定めて各種事業を平成20年度から5年間にわたり行いたいと考えています。

その計画の採択に向けて、事前に市民の皆さまの意向を確認するため、「まちづくり交付金事業の効果に関する調査」（調査期間 2月11日～22日）を実施し、結果がまとまりましたので報告します。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

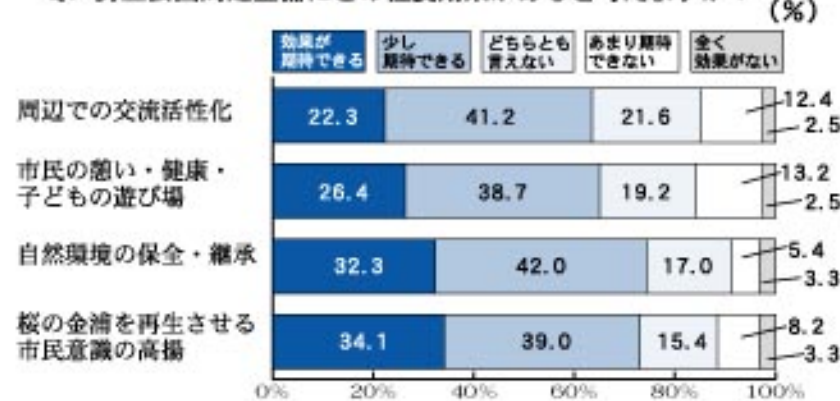
◆回収率は33・8%

調査は18歳以上の市民1,500人（仁賀保・金浦・象潟から各500人ずつ無作為抽出）を対象に実施した結果、507人の方々が回答を得ました。回答者数の内訳（回収率）は、仁賀保地域が143人（28・6%）、金浦地域が179人（35・8%）、象潟地域が146人（29・2%）不明が39人で、全体の回収率は33・8%でした。年齢別では60歳以上が全体の47・1%を占めました。

●勢至公園周辺整備

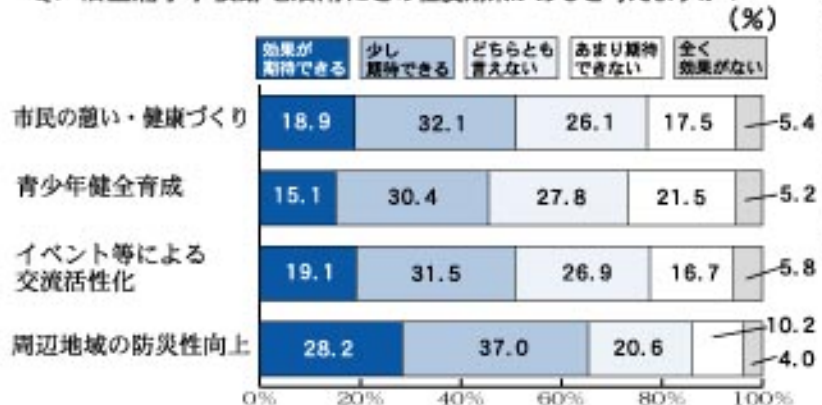
「桜の金浦」を再生するため、観音湯と竹嶋湯の周辺とこれらの湯を結ぶ道路沿いに桜を植樹し、併せて湯の水質を浄化し一体的な自然ゾーンをつくることを目標にした「勢至公園周辺整備」に関してたずねた結果、「周辺での交流活性化」「市民の憩い・健康づくり・子どもたちの遊び場としての生活満足度向上」「自然環境を守り後世に伝える」「桜の金浦」を再生させる市民意識の高揚」のすべてについて「効果が期待できる」と「少し期待できる」と答えた方の合計

Q. 勢至公園周辺整備にどの程度効果があると考えますか？



が回答者全体の過半数を超えています。

Q. 旧金浦小学校跡地活用にどの程度効果があると考えますか？



ことを目標にした「旧金浦小学校跡地整備」に関してたずねた結果は、「市民の憩い・健康づくりの場としての生活満足度向上」「イベント活動の場を整備することによる交流活性化」「周辺住民の集会所と防災備蓄倉庫を備えた一次的避難所を整備することにより防災性を高める」の3つについては「効果が期待できる」と「少し期待できる」と答えた方の合計が回答者全体の過半数を超えています。

Q. 地域交流センター整備にどの程度効果があると考えますか？



●地域交流センター整備

白瀬南極探検隊記念館付近に地域交流センター（総合文化センター）を建設し、にかほ市のシンボル・全市民の交流拠点として整備することを目標にした「地域交流センターの整備」に関してたずねた結果は、「多目的ホールで行われるイベントによる広域からの集客」「雨の日でも子どもたちが遊べる場所の確保による子育て支援」の2つについては「効果が期待できる」と「少し期待できる」と答えた方の合計が回答者全体の過半数を超えています。

●地域交流センターの機能

「地域交流センター（総合文化センター）」について、具体的な建築設計を進めるにあたり、完成後の維持管理を考慮して機能を絞り込んだ施設にしたいと考えていますが、日常的により多くの市民が交流できる施設とするためにどんな機能としていくことが良いとお考えですか」とたずねた結果は、「子どもたちが安心して遊べる、遊び場の機能」が回答者全体の29%で最も多く、次いで「大規模なコンサート・舞台等に対応した芸術文化ホールの機能」が25・8%でした。

●計画への期待度（賛同率）は52・8%

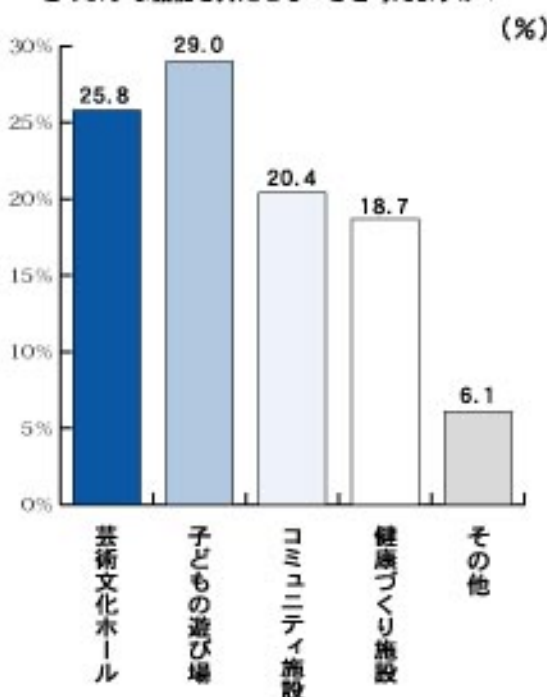
「これらの事業を5年間で一体的に整備することにより、金浦地区を活性化するとともに、市民の交流を促し、市全体を活性化させたいと考えています。これらの総事業費は今のところ概算で46・6億円であり、国から受けられる財政支援（まちづくり交付金や合併特例債の元利償還に対する普通交付税）を除く15億円（市の全世帯数9,000世帯で割ると向こう50年間で月額約278円）を実質的に市が負担することになると見込まれますが、これらの事業を

Q. 市の活性化を目指すにあたりこれらの事業により効果があると思えますか？



施することによって『市を活性化させる』効果が期待できると思えますか」とたずねた結果は、「期待できる」と「少し期待できる」の合計が回答者全体の52・8%でした。

Q. 地域交流センターについて日常的に多くの市民が交流できる施設とするためにどのような機能を持たせるべきと考えますか？



問合せ先
建設部都市整備課
☎ 38・4307